

お元気



①②07年に盗難に遭った鬼太郎のモニュメントだが、多くの人の協力により復活した
木綿に乗ったねこ娘はふぐ料理店の前に、切り株に座るぬりかべはスーパーの前にいる

③④一反木綿や街路灯の上に腰掛けた鬼太郎に出
会うことができる。

09年、水木しげる氏の夫人の著書を原案と
した連続テレビ小説の放映が決まった。ドラ
マの舞台となるのは昭和の調布市であり、当
商店街ももちろん登場する。これをきっかけ
に調布市をPRしようと、調布市中心市街地
の九つの商店街が提携。キーワードを集めて
キャラクターの名前を当てる「キャラクター
を当てよう！2009」を開催した。キーワ
ードは複数の商店街を巡らなければ
集めることができないよう工夫
され、調布の町をPRするきっかけ
になつた。ドラマの放映が始ま
つてからは観光客も増加したとい
う商店街。商店街同士のつなが
りも密になり、今後の展開が期待
される。

所 東京都調布市布田
042-481-7185 (調布市産業振興課)
京王線・相模原線・調布駅より徒歩2分



私が **オススメ** します！
かつて布田五宿
といわれ栄えた
調布の町。布多
天神へ向う参道
は、現在、商
店街とな
り鬼太郎が
出迎えます。

お元気商店街研究会(関東)
重岡依里



天神通り商店街(正式には天神通り商店会)を見守る鬼太郎



ベンチにはねずみ男が寝そべる

調布駅から程近い住宅街に位置する「天神通り商店街」。この町には、たくさんの妖怪たちが住んでいる。その筆頭が「鬼太郎」だ。鬼太郎たちのモニュメントが設置されている。年に調布市民となり、この場所で漫画を描いてきた。その縁もあり、天神通り商店街には鬼太郎の「生みの親」である水木しげる氏が59年にぎわい創出の一環として、毎年7月に鬼太郎七夕祭りを開催。各店舗の軒先に七夕飾りをほどこし、通りを鮮やかに彩る。抽選会や野菜の産直市、子ども向けイベントなども催され、集客の呼び水としてひと役買っている。07年4月、鬼太郎のモニュメントが盗難に遭う。しかし商店街のシンボルであった「鬼太郎」の復活を願う声が多く寄せられ、商店街は「モニュメント再設置のための募金活動」を開始。七夕祭りでも募金を呼びかけ、